

平成26年3月期 決算補足説明資料

2014年5月

(証券コード:4553)

まとめ

- ・ 売上高は、前期比11.1%増加し、ほぼ計画通りとなった。なお、2014年4月の消費増税を踏まえた前倒しの需要は約12億円(計画では15億円)であった。
- ・ 売上原価率は、前年同期比0.9pt増加した。
- ・ 販売管理費は、計画よりも約4億円の上振れとなり、前期比12.5%増加した。研究開発費及び荷造費の増加の影響が大きい。
- ・ 営業利益は、前期比0.2%減少した。対計画では、売上原価率の悪化、販売管理費の増加の影響が重なり、約13億円下回った。
- ・ 次期の見通しについては、2014年4月の薬価改定による影響を吸収して、大幅に売上高を伸ばす。コスト面では、山形工場の減価償却費の計上がピークを越えるが、今後の業績拡大に備えた要員の拡充や研究開発費の拡大などにより、増加する見込み。その結果、営業利益はほぼ横ばいとみている。

2014年3月期決算概要

期 項目	14/3			13/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	61,351	100.0	+ 11.1	55,241	100.0
売上原価	31,121	50.7	+ 13.2	27,500	49.8
販管費	22,523	36.7	+ 12.5	20,018	36.2
営業利益	7,706	12.6	- 0.2	7,723	14.0
経常利益	8,834	14.4	-7.4	9,544	17.3
当期純利益	5,992	9.8	-3.4	6,201	11.2

(為替レート)
1ドル

2014/3	2013/12	2013/9	2013/3	2012/12	2012/9	2012/3
101.92円	104.39円	96.75円	93.05円	85.58円	76.60円	81.19円

2014年3月期決算概要

< 大地化成を含まない13/3と同じ連結ベース >

期	14/3			13/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	61,351	100.0	+ 11.1	55,241	100.0
売上原価	30,737	50.1	+ 11.8	27,500	49.8
販管費	22,810	37.2	+ 14.0	20,018	36.2
営業利益	7,803	12.7	+ 1.0	7,723	14.0
経常利益	8,946	14.6	- 6.3	9,544	17.3
当期純利益	5,820	9.5	- 6.1	6,201	11.2

2014年3月期決算概要

(対通期計画比)

期	14/3			14/3 計画 (2月10日発表)	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	対計画比 (%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	61,351	100.0	+ 0.1	61,300	100.0
売上原価	31,121	50.7	+ 3.1	30,200	49.3
販管費	22,523	36.7	+1.9	22,100	36.1
営業利益	7,706	12.6	- 14.4	9,000	14.7
経常利益	8,834	14.4	-8.9	9,700	15.8
当期純利益	5,992	9.8	-9.2	6,600	10.8

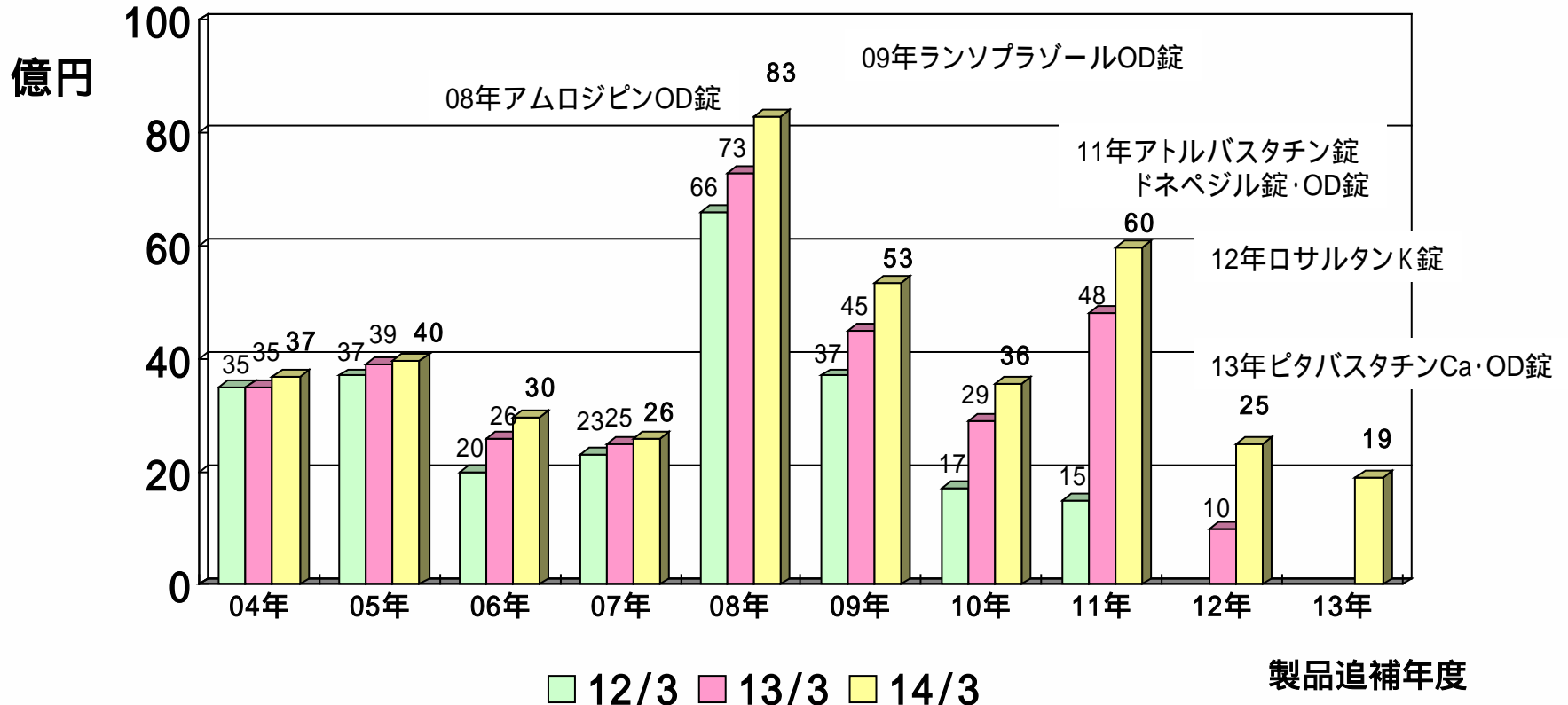
2014年3月期決算概要

(単体)

期 項目	14/3			13/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	59,696	100.0	+ 11.3	53,624	100.0
売上原価	29,621	49.6	+ 11.5	26,573	49.6
販管費	22,287	37.3	+ 14.2	19,509	36.4
営業利益	7,786	13.0	+ 3.3	7,541	14.1
経常利益	8,935	15.0	- 4.5	9,358	17.5
当期純利益	5,807	9.7	- 4.7	6,091	11.4

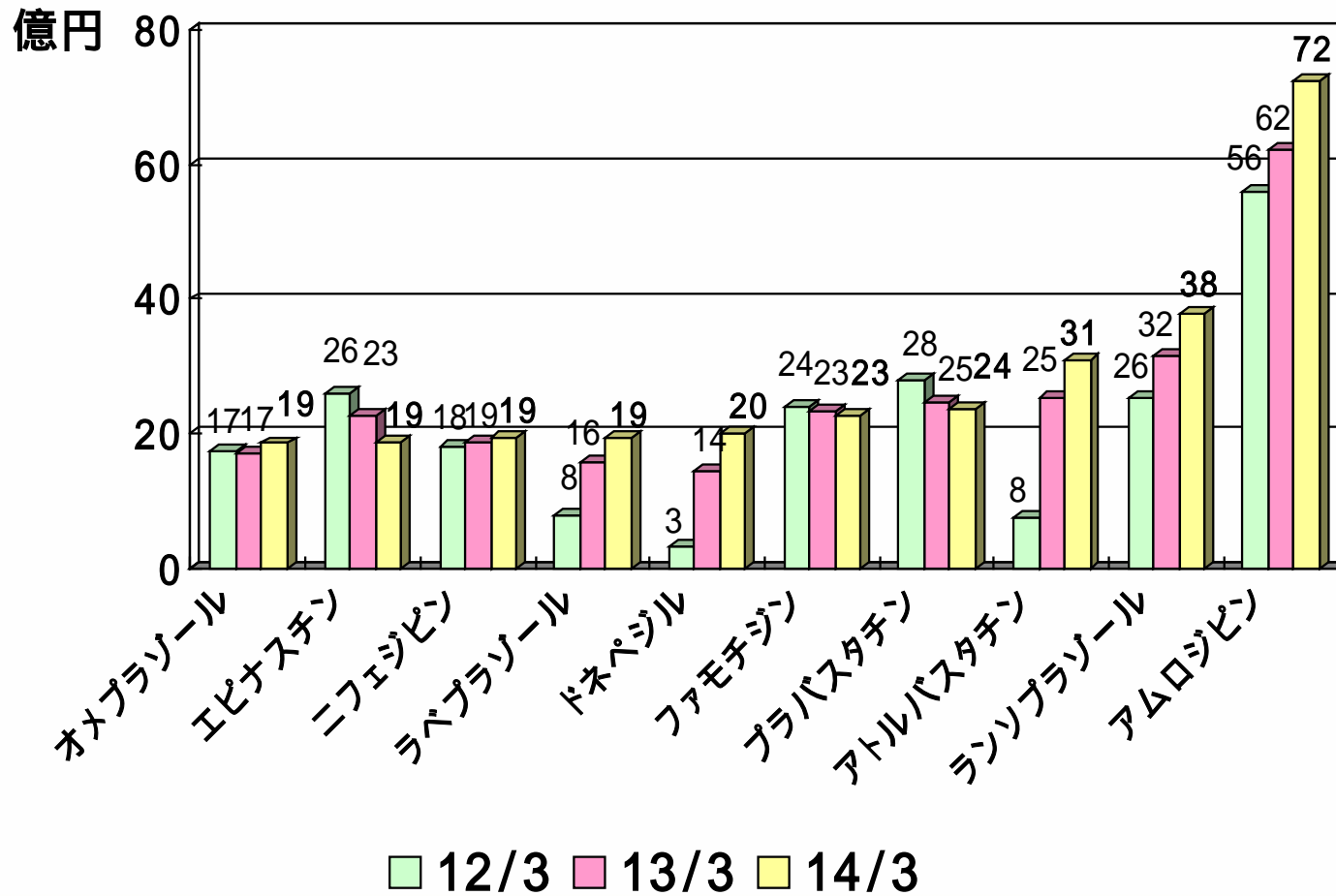
追補年度別売上高推移

12年追補が順調に伸長、13年追補も好調。



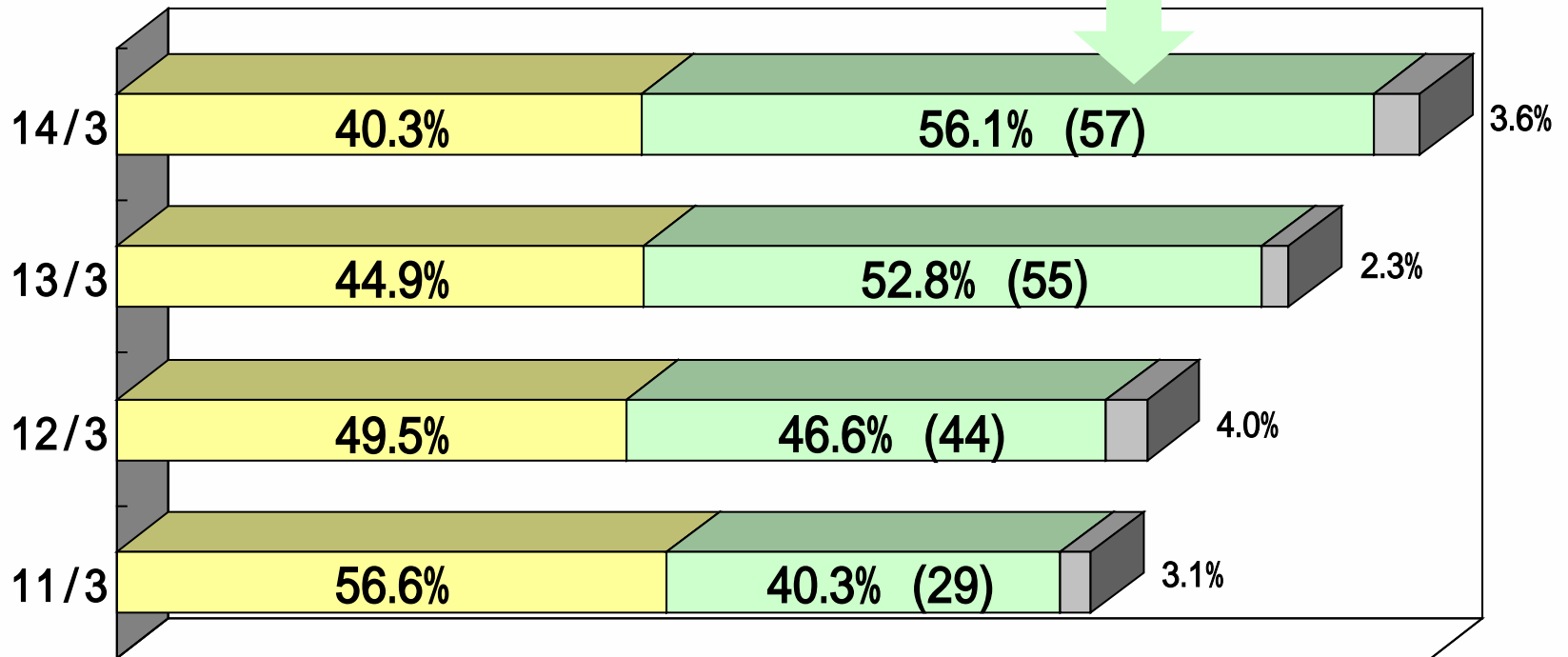
主要製品売上高推移

アムロジピン、ランソプラゾールなどが順調に成長した。



売上高詳細 (販路別)

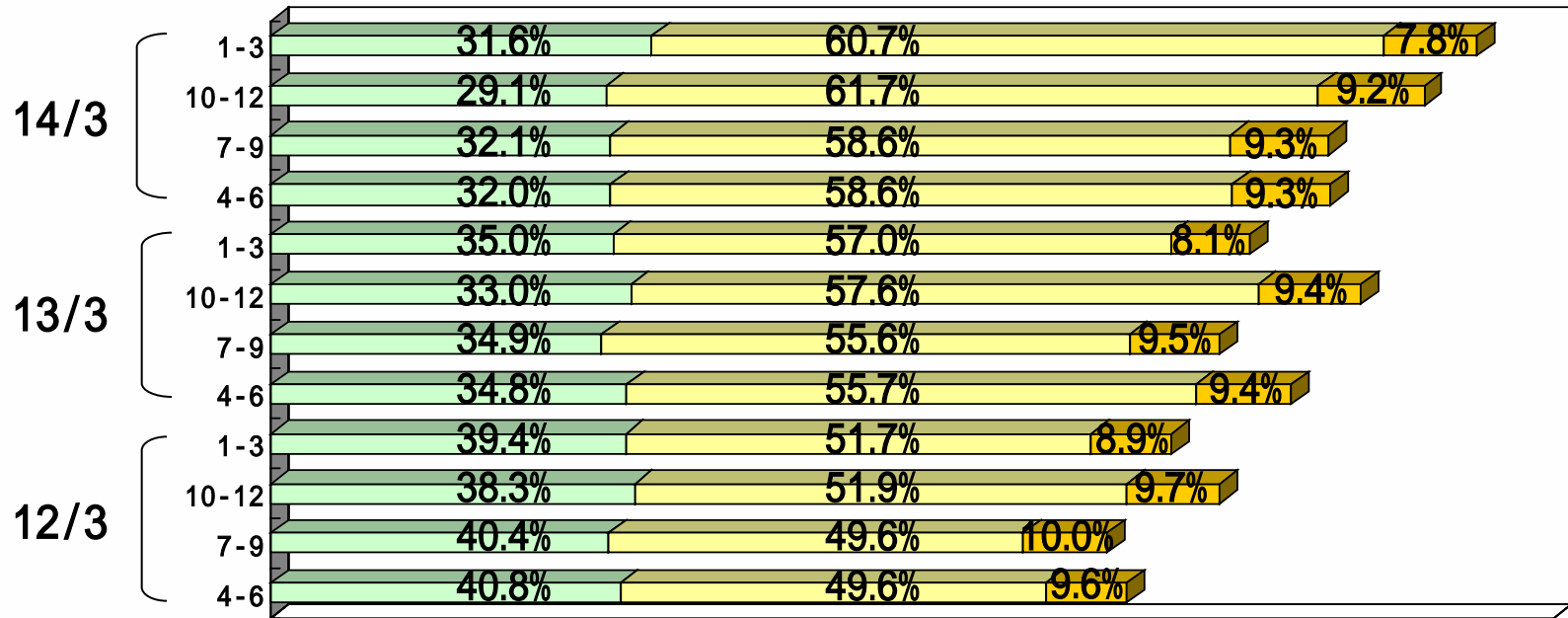
代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。
()は営業所数



■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他 (他社販売・受託・輸出)

売上高詳細(納入先別)

保険薬局向けの売上が60%を超えた。



■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院

(他社販売等を除く。診療所 + 保険薬局 + 病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

期 項目	14/3			13/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
人件費	9,706	15.8	+ 10.4	8,790	15.9
研究開発費	5,296	8.6	+ 18.3	4,478	8.1
広告宣伝費	1,086	1.8	+ 24.8	870	1.6
荷造費	969	1.6	+ 18.8	816	1.5
その他	5,464	8.9	+ 7.9	5,062	9.2
販管費	22,523	36.7	+ 12.5	20,018	36.2

貸借対照表

(百万円)

項目	14/3	13/3	増減
現金及び預金	6,038	3,485	+ 2,552
受取手形 及び売掛金	19,505	17,217	+ 2,288
有価証券	4,637	3,000	+ 1,637
商品及び製品	12,412	10,450	+ 1,961
その他流動資産	14,200	12,895	+ 1,304
流動資産計	56,794	47,049	+ 9,744
建物及び構築物	21,663	21,271	+392
機械装置及び運 搬具	9,019	8,388	+630
その他固定資産	15,840	12,996	+ 2,844
固定資産計	46,523	42,656	+ 3,867
資産合計	103,318	89,705	+13,612

項目	14/3	13/3	増減
支払手形 及び買掛金	9,775	7,482	+ 2,292
1年内返済予定 の長期借入金	2,925	2,825	+ 100
未払法人税等	1,915	1,667	+247
その他流動負債	10,140	7,543	+2,596
流動負債計	24,757	19,519	+5,237
長期借入金	16,620	12,908	+3,712
その他固定負債	1,792	1,667	+125
固定負債計	18,413	14,575	+ 3,837
負債合計	43,170	34,095	+ 9,075
純資産合計	60,147	55,610	+ 4,536
負債・純資産 合計	103,318	89,705	+13,612

キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

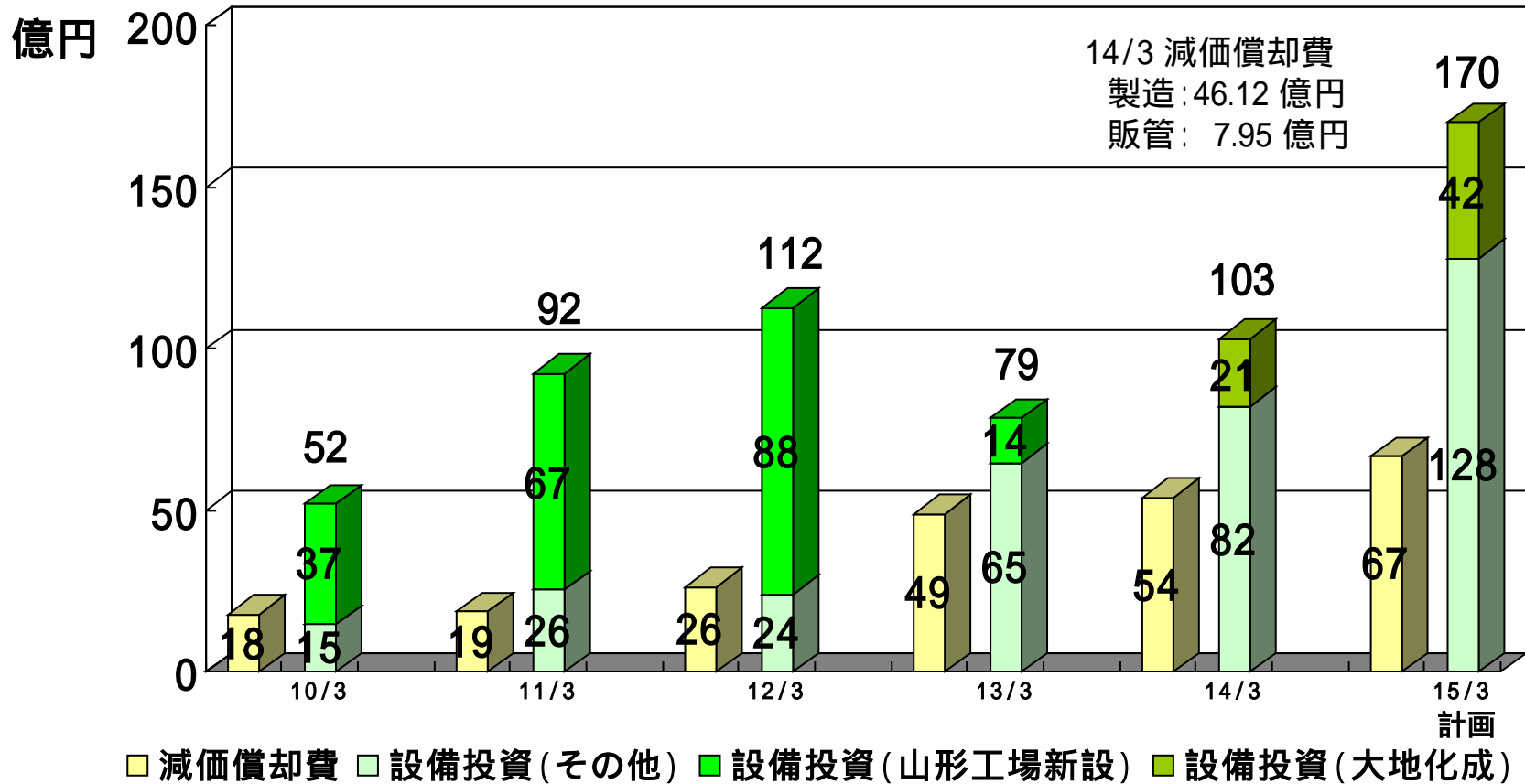
項目	14/3	13/3
税金等調整前四半期純利益	8,702	9,310
減価償却費	5,407	4,909
たな卸資産の減少(増加)額	- 2,963	- 2,371
法人税等の支払額	- 2,152	- 3,351
その他	-850	147
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,144	8,645

項目	14/3	13/3
有形固定資産の取得による支出	- 7,954	- 10,524
その他	- 3,346	- 774
投資活動によるキャッシュ・フロー	-11,300	- 11,298

項目	14/3	13/3
長期借入れによる収入	6,750	6,500
長期借入れの返済による支出	-2,937	- 2,565
その他	-283	- 1,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,529	2,793

項目	14/3	13/3
現金及び現金同等物に係る換算差額	251	46
現金及び現金同等物の増減額	624	187
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	65	-
現金及び現金同等物の期首残高	3,985	3,798
現金及び現金同等物の期末残高	4,675	3,985

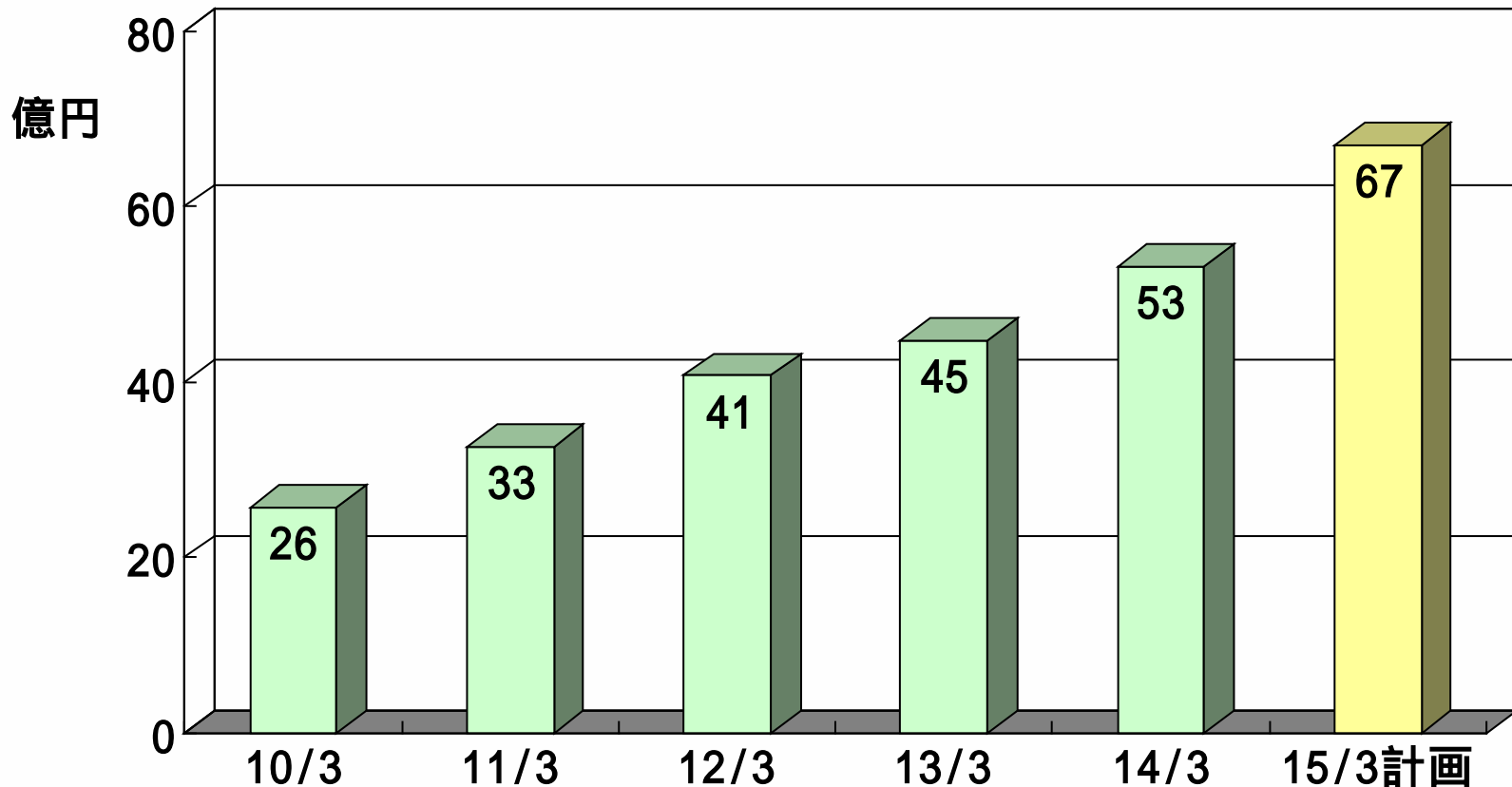
設備投資・減価償却費



2015年3月期設備投資計画

項目	設備投資額 (億円)	主な内容
大阪工場	13	製造設備
岡山工場	41	増改築、製造設備
山形工場	30	設備製造
研究開発	9	分析機器、製造設備
営業	7	営業所、システム
事業開発・大地化成	46	原薬製造工場、分析機器
その他	24	システム
合計	170	

研究開発費



- ・ 14/3の研究開発費は想定通り。
- ・ 15/3の研究開発費は、2017年度の上市を計画している製品の開発が多いため大幅に増加する見込みである。

2014年6月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2013年度 売上(億円)
選択的AT ₁ 受容体ブロッカー	バルサルタン錠 20mg/40mg/80mg/160mg「トーワ」	ディオバン錠 20mg/40mg/80mg/160mg (ノバルティス)	869
	バルサルタンOD錠 20mg/40mg/80mg/160mg「トーワ」	ディオバンOD錠 20mg/40mg/80mg/160mg (ノバルティス)	12
持続性ARB / 利尿薬合剤	ロサルヒド配合錠LD「トーワ」	プレミネント配合錠LD (MSD)	246

など、10成分 19品目を上市予定

6月追補品合計で初年度売上約15億円

バルサルタン 約8億円

ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド 約2億円
を計画しております。

2015年3月期 計画

期	15/3 計画 (5月14日発表)			14/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	72,000	100.0	+ 17.4	61,351	100.0
売上原価	37,500	52.0	+ 20.5	31,121	50.7
販管費	26,700	37.0	+ 18.5	22,523	36.7
営業利益	7,800	10.8	+ 1.2	7,706	12.6
経常利益	7,800	10.8	- 11.7	8,834	14.4
当期純利益	5,300	7.4	- 11.6	5,992	9.8

- ・ 2014年4月の薬価改定による影響を吸収して、大幅に売上高を伸ばす。
- ・ コスト面では、山形工場の減価償却費の計上がピークを越えるが、岡山工場、大阪工場の減価償却費の増加及び、今後の業績拡大に備えた要員の拡充や研究開発費の拡大などにより、増加する見込み。

後発医薬品にかかる薬価制度の変更について

【後発医薬品の薬価について】

今後収載される後発医薬品の薬価について

- ・ $\times 0.6$ (内用10品目以上の場合は $\times 0.5$)

すでに収載されている後発医薬品の薬価について (価格帯)

- ・ 後発医薬品は最高価格の0-30%、30-50%、50-100%の3価格帯でグルーピングしてそれぞれ加重平均

【後発医薬品の使用促進について】

- ・ 後発医薬品置き換え率60%の新目標 (ロードマップ)
- ・ 保険薬局の後発医薬品調剤体制加算
(65%以上22点、55%以上18点)
- ・ DPC病院の機能評価係数 の中に「後発医薬品指数」を新設。
評価上限を後発品の数量ベースの使用割合で60%に設定。

新しい薬価制度で選ばれる会社とは？

顧客(医療関係者と患者)のニーズ

品揃えが多いと
便利

医療関係者と
患者にやさしい

やっぱり
安定供給が
いちばん

MRがきちんと
来てくれる



業界最多レベル
622品目

RACTAB
製品名印字

東和式直販体制

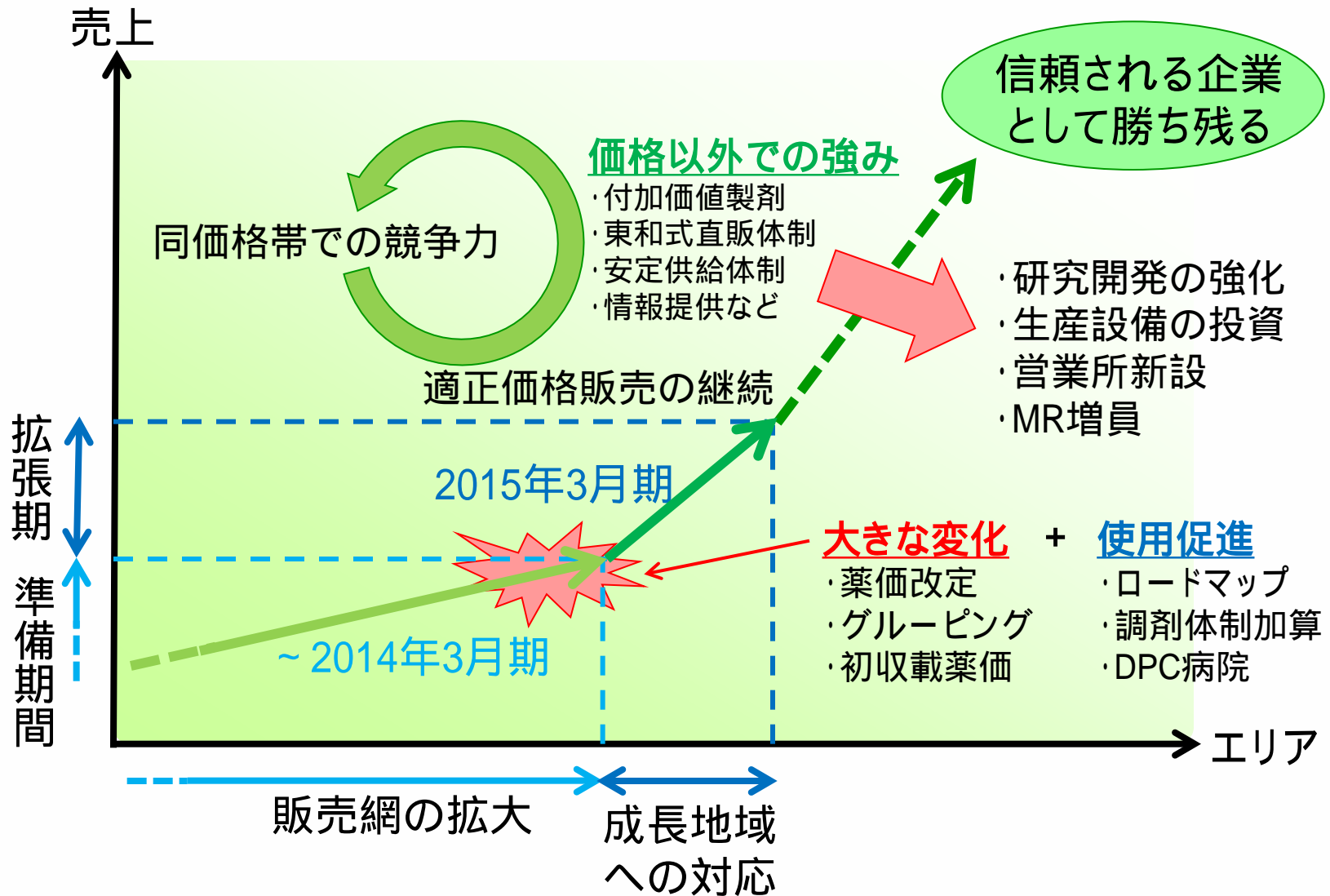
業界最多レベル
MR 668名



東和薬品株式会社

東和薬品には選択される要素がたくさんある
新しい薬価制度の下、競争優位の立場を確立

東和薬品の経営戦略



< お問い合わせ先 >

東和薬品株式会社 経営企画部

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。